

## はじめに

# 基礎から応用、実践に広がる脳卒中への アプローチ 動画で訓練の実際を学ぶ！

わが国の脳卒中の年間発症率は人口10万人当たり50～60例で、4.3人に1人が一生涯のうちに脳卒中を発症するという現状です。

リハビリテーションはすべての疾患において必要ですが、その中でも脳卒中に対するアプローチは非常に大きなウエイトを占めています。本書はこのようなニーズに広く、深く対応できることを目標に作成しました。

脳卒中のリハビリテーションに関する書籍はたくさん出版されていますが、本書は脳卒中の病態を多くの図表を添えて、よりわかりやすく解説し、「知識を深め、アプローチの意味を理解し、実践力につなげる！」ということを目指しました。

本書では、第1章で生活を見据えたリハビリテーションの大切さ、第2章と3章では脳卒中の病態や障害像を詳述して、そのアプローチについて具体的に解説しました。第4章では各時期におけるリハビリテーションの在り方、第5章では生活支援と生きがいにかかる制度の活用などに触れました。

評価法や訓練の実際を全項目にわたって動画で解説しています、二次元コードでアクセスすれば、瞬時に、いつでも、どこでもその動画を見ることができます。個々の画面にはテロップをつけてアプローチのポイントを示しています。

理解と技術を深めることを重視したことで、本書は400ページをゆうに超える内容になり、動画はトータルで360分（約6時間）に及びました。

各項目を担当した執筆者や動画の出演者は皆、病院、施設、地域で活躍しているリハビリテーションのエキスパートたちです。

400ページを超えた本書はカバンに入れるといささか重く感じますが、そこで感じる重さの何倍、何十倍もの濃い内容がこの書籍に含まれています。リハビリテーションを学ぶ学生や研修医はもちろん、脳卒中の治療にあたる先生方にも十分お役に立つものと自負しています。

編集にかかわってくださった（株）Gakkenメディカル事業部の黒田周作さんと大内ゆみさんには心より感謝しています。この場を借りて深くお礼申し上げます。

本書が患者さんの笑顔につながることを切に願っています。

2025年5月吉日

令和健康科学大学リハビリテーション学部 学部長・教授  
稻川 利光